

# 乳癌(進行・再発) CTF療法

3rd Line以降

( )コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21日。

使用基準: 開始時; class B、2回目以降; class C

### 《使用薬剤》

- ピラルビシン (THP-ADR) : ピラルビシン (1V: 10mg、20mg)
- シクロホスファミド (CPA) : シクロホスファミド (1V: 100mg、500mg)
- フルオロウラシル: フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)

### 投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)
ピラルビシン	40 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!	
シクロホスファミド	500 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!	
フルオロウラシル	500 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!	

### << タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day	時刻	薬剤	投与量
day1	0時00分	内服	アプレタクトカプセル125mg ピラルビシン投与1時間前頃
1月1日 (金)	0時45分	①	生理食塩液50mL + アロキシ 1V + デキサート 9.9mg 15分で点滴静注
	1時00分	②	5% ブドウ糖液 50mL + ピラルビシン mg 全開 10分以内で点滴静注
	1時10分	③	生理食塩液 250mL + シクロホスファミド mg 30分で点滴静注
	1時40分	④	生理食塩液 50mL + フルオロウラシル注 mg 全開 5分で点滴静注 0.0 ml
	1時45分	⑤	生理食塩液 50mL (フラッシュ)
day1	1月1日 (金)	～内服	オメプラゾール (10mg) 1錠 1 × (21) 朝食後 ロラゼパム (0.5mg) 2錠 2 × (6) 朝・夕食後 アプレタクトカプセル (125mg) 1カプセル 1 × (1) ピラルビシン投与1時間前頃
day2	1月2日 (土)	～内服	アプレタクトカプセル (80mg) 1カプセル 1 × (2) 起床時 デカドロン (0.5mg) 8錠 2 × (5) 朝・夕食後

### REFERENCE (変法)

Kapil Dhingra, Debra Frye, Rober A. Newman, et al

Phase II clinical and pharmacological study of pirarubicin in combination with 5-fluorouracil and cyclophosphamide in metastatic breast cancer

Clinical Cancer Research, 1: 691-697, 1995

化学療法プロトコール委員会承認: 2009年6月11日 更新: 2016年4月5日